

家賃減額に関して賃貸借人の間での合意を確認できれば、様式は問いません。
賃貸借契約に基づく所定の様式があれば、その様式を使用してください。

覚 書

記入例

対象物件 新宿〇〇ビル

所在地 東京都新宿区 新宿●-〇-□

賃貸人 ▲▲ ▲▲ (以下「甲」という) と賃借人 ●● ○○
(以下「乙」という) は、平成20年 3月 1日付で締結された「(賃貸借契
約名) 新宿〇〇ビルにおける建物賃貸借契約」に関して、以下のとおり合意
したので本覚書を締結する。

家賃本体の金額を記入
してください。消費税や
共益費等がある場合は記
載を分けてください。

第1条 (家賃減額)

甲と乙は月額家賃を次のとおり変更することを合意する。

月額家賃 400,000 円 (税別) から 300,000 円 (税別) に変更する。

第2条 (期間)

前条の家賃減額期間は令和2年 11月分家賃から令和3年 3月分家賃までとする。

第3条 (その他)

本覚書に記載がない事項又は本覚書の解釈に疑義が生じた事項については、
甲乙協議の上で定めるものとする。

以上を証するため本覚書を2部作成し、甲乙記名捺印の上各1通を保有する。

令和2年 10月 8日

貸主・借主の双方が記名・押印した日
(締結日) を記入してください。

賃貸人 (甲)

住所

東京都新宿区歌舞伎町●-●-●

氏名

▲▲ ▲▲

印

元々の賃貸借契約書
に合わせてください。

賃借人 (乙)

住所

東京都新宿区新宿●-●-●

氏名

●● ○○

印